



平成26年10月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年6月10日

上場取引所 東名

上場会社名 サーラ住宅株式会社

コード番号 1405 URL <http://www.sala-house.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 水谷 九郎

問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 松尾 享史

TEL 0532-32-7272

四半期報告書提出予定日 平成26年6月12日

配当支払開始予定日

平成26年7月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年10月期第2四半期の連結業績(平成25年11月1日～平成26年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年10月期第2四半期	16,778	3.0	709	6.8	731	5.7	401	△1.7
25年10月期第2四半期	16,292	△2.2	664	△18.2	692	△16.6	408	1.9

(注)包括利益 26年10月期第2四半期 425百万円 (△2.8%) 25年10月期第2四半期 437百万円 (△1.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年10月期第2四半期	78.75	—
25年10月期第2四半期	80.09	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
26年10月期第2四半期	22,698		7,158		30.5	
25年10月期	22,290		6,898		29.9	

(参考)自己資本 26年10月期第2四半期 6,913百万円 25年10月期 6,668百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年10月期	—	10.00	—	30.00	40.00
26年10月期	—	15.00	—	—	—
26年10月期(予想)	—	—	—	20.00	35.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年10月期の連結業績予想(平成25年11月1日～平成26年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,100	1.9	1,070	△11.0	1,090	△14.6	600	△19.8	117.69

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 2「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 有

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 2「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年10月期2Q	5,184,000 株	25年10月期	5,184,000 株
26年10月期2Q	86,035 株	25年10月期	86,035 株
26年10月期2Q	5,097,965 株	25年10月期2Q	5,097,965 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の各種経済政策等を背景に、企業収益の改善や設備投資が持ち直す等、景気は緩やかな回復基調が続きましたが、4月以降、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動により、弱い動きも見られ始めました。

住宅業界におきましては、雇用・所得環境の改善や各種住宅取得促進策等により、新設住宅着工戸数は堅調に推移していましたが、消費税増税に伴う反動減の影響も徐々に始り、先行きについては不透明感が残る状況となりました。また、建築資材価格の上昇や建設労働者不足等の懸念材料も、依然継続しております。

このような状況の下、当社グループは住まいづくりに関する総合的なサービスを展開し、人と住まいと環境における最高のクオリティの実現を目指すとともに、当社グループ4社が有する技術・商材・サービス・顧客基盤等のリソースを相互に活用し、シナジー効果の最大化に努めてまいりました。

住宅事業におきましては、コア技術である「外断熱・二重通気工法」を中心に、商品・技術の優位性をお客さまに効果的に訴求する販売戦略を徹底してまいりました。新商品「KanonG-S45N」の販売を促進するとともに、太陽光発電、乾燥無垢ひのき等の付加価値を高めるアイテムを積極的に提案する等、性能訴求に取り組んでまいりました。また、愛知県豊川市の豊橋北展示場において、次世代省エネ基準で定められた断熱性能を30%上回る、先進の省エネ性能を備えたモデルハウスを建替えオープンし、集客力の向上、注文住宅の受注強化に努めてまいりました。分譲面では、スマートハウス分譲や名古屋市を中心とした利便性の高い都市型の高品質物件等、高付加価値で魅力的な分譲住宅の販売強化に取り組んでまいりました。

住宅部資材加工・販売事業におきましては、継続的な新規顧客開拓による販売先の拡大や既存顧客への増量販売等、販売強化に努めるとともに、集中購買による仕入コストの削減や一般管理費の削減に取り組み、収益性の向上に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は16,778百万円（前年同四半期比3.0%増）、営業利益は709百万円（前年同四半期比6.8%増）、経常利益は731百万円（前年同四半期比5.7%増）、四半期純利益は401百万円（前年同四半期比1.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は22,698百万円となり、前連結会計年度末と比較して408百万円増加いたしました。これは主として、現金及び預金の増加によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は15,540百万円となり、前連結会計年度末と比較して148百万円増加いたしました。これは主として、支払手形及び買掛金、並びに未成工事受入金の増加によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は7,158百万円となり、前連結会計年度末と比較して260百万円増加いたしました。これは主として、利益剰余金が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点において、平成25年12月10日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(税金計算の計算方法の変更)

従来、当社及び連結子会社の税金費用については、原則的な方法により計算していましたが、当社グループの四半期決算業務の一層の効率化を図るため、第1四半期連結会計期間より連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法に変更しております。

なお、この変更による当第2四半期連結累計期間の影響は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,846,142	4,253,913
受取手形及び売掛金	3,014,744	2,970,714
未成工事支出金	839,123	819,116
販売用不動産	3,787,223	4,012,255
仕掛販売用不動産	5,550,993	4,999,745
商品及び製品	500,943	781,637
原材料及び貯蔵品	3,230	2,510
繰延税金資産	278,999	276,364
その他	74,936	128,178
貸倒引当金	△71,038	△78,075
流動資産合計	17,825,299	18,166,361
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	778,808	814,831
土地	2,870,230	2,886,390
その他(純額)	89,825	92,391
有形固定資産合計	3,738,863	3,793,613
無形固定資産	52,558	47,584
投資その他の資産		
投資有価証券	336,974	333,339
繰延税金資産	301,108	303,841
その他	182,279	205,433
貸倒引当金	△146,825	△151,566
投資その他の資産合計	673,536	691,047
固定資産合計	4,464,958	4,532,245
資産合計	22,290,257	22,698,606

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年4月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,082,934	6,508,885
短期借入金	5,300,000	5,200,000
1年内返済予定の長期借入金	66,600	66,600
未払法人税等	347,900	304,093
未成工事受入金	1,087,903	1,237,076
賞与引当金	310,553	130,112
完成工事補償引当金	30,316	30,550
その他	753,410	650,445
流動負債合計	13,979,618	14,127,765
固定負債		
長期借入金	105,650	72,350
退職給付引当金	1,068,062	1,091,160
役員退職慰労引当金	186,950	199,902
資産除去債務	25,539	25,767
負ののれん	454	168
その他	25,508	22,913
固定負債合計	1,412,166	1,412,262
負債合計	15,391,784	15,540,028
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,018,590	1,018,590
資本剰余金	1,192,390	1,192,390
利益剰余金	4,356,076	4,604,578
自己株式	△26,764	△26,764
株主資本合計	6,540,292	6,788,794
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	127,865	124,545
その他の包括利益累計額合計	127,865	124,545
少数株主持分	230,314	245,238
純資産合計	6,898,473	7,158,578
負債純資産合計	22,290,257	22,698,606

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年11月1日 至平成25年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年11月1日 至平成26年4月30日)
売上高	16,292,110	16,778,984
売上原価	13,087,423	13,548,353
売上総利益	3,204,687	3,230,631
販売費及び一般管理費	2,539,718	2,520,717
営業利益	664,968	709,913
営業外収益		
受取利息	969	701
受取配当金	3,286	3,020
仕入割引	9,675	10,365
受取手数料	7,567	7,865
負ののれん償却額	742	285
貸倒引当金戻入額	3,640	1,946
その他	18,543	10,562
営業外収益合計	44,425	34,746
営業外費用		
支払利息	13,239	10,776
その他	4,014	1,983
営業外費用合計	17,253	12,760
経常利益	692,139	731,899
特別損失		
固定資産除却損	634	378
特別損失合計	634	378
税金等調整前四半期純利益	691,505	731,521
法人税、住民税及び事業税	181,165	—
法人税等調整額	92,786	—
法人税等	—	303,245
法人税等合計	273,951	303,245
少数株主損益調整前四半期純利益	417,553	428,276
少数株主利益	9,277	26,835
四半期純利益	408,276	401,440

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年11月1日 至平成25年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年11月1日 至平成26年4月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	417,553	428,276
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	19,760	△3,139
その他の包括利益合計	19,760	△3,139
四半期包括利益	437,314	425,136
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	426,778	398,120
少数株主に係る四半期包括利益	10,536	27,016

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。